保険料控除申告書の記入方法について

申告書の記入手順

次の 1 ～ 5 に従ってご記入ください。
<一般の生命保険料欄の番号を例として記載しています。>

1 契約の基本情報を記入する

「保険会社名」、「保険種類」、「保険期間(または年金支払期間)」、「契約者氏名」、「受取人氏名」を転記し、「続柄」を記入する。

2 支払った保険料を記入する

「新旧区分」、「申告額」を転記する。
※ 一般生命申告額 は 一般の生命保険料 欄へ、
介護医療申告額 は 介護医療保険料 欄へ、
個人年金申告額 は 個人年金保険料 欄へ、それぞれ転記する。
※「介護医療保険料」は、「新制度」のみのため、「新旧区分」の記入は不要です。

3 保険料を「新旧区分」ごとに合計して記入する

- 「新制度」の金額を合計し、A欄へ記入する。
- 「旧制度」の金額を合計し、B欄へ記入する。

4 保険料控除額を計算して記入する

- A欄の金額を計算式Ⅰ(新保険料等用) で計算し、①欄へ記入する(最高 40,000 円)。
- B欄の金額を計算式Ⅱ(旧保険料等用) で計算し、②欄へ記入する(最高 50,000 円)。

5 最終的な保険料控除額を記入する

- ①欄と②欄の合計を③欄に記入する(最高 40,000 円)。
- ②欄と③欄の大きい方の金額を㋔欄に記入する。

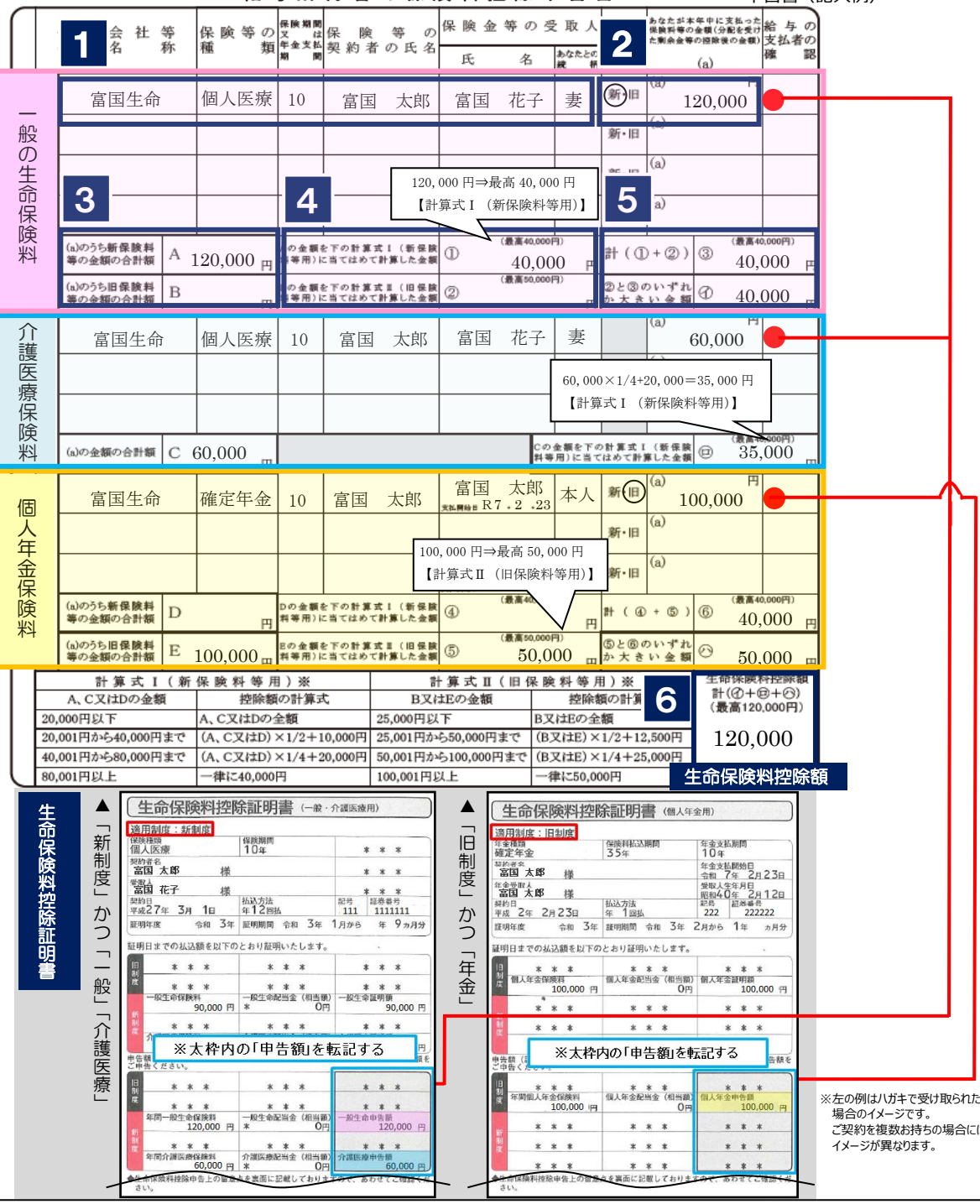
1～5 に従って、
一般の生命保険料　介護医療保険料　個人年金保険料
それぞれ同じ手順で、区分ごとにご記入ください。 ▶ 6 をご記入ください。

6 区分ごとの保険料控除を合計して記入する

- ㋔㋕㋖の金額を合計して記入する(最高 120,000 円)。

○当社ホームページに保険料控除額が簡単に計算できるツールもありますので、是非ご活用ください。

申告書（記入例）



※左の例はハガキで受け取られた場合のイメージです。
ご契約を複数お持ちの場合にはイメージが異なります。